



大子町セカンドハウスWさん

01



一軒家のリフォーム

Daigo Town

2021年に大子町の空き家を購入した30代男性のWさんは、奥様と二人のお子さんとの4人家族。一級建築士としての専門知識を活かし、民泊の運営など、建築をベースにした事業を展開中。東京と大子町の二拠点で生活しながら、趣味の登山やお酒を楽しむ充実した日々を送っている。購入した物件は見晴らしの良い広々とした土地で、なんともともとあった蔵をサウナにリノベーションしたという。空き家購入までの経緯や、こだわりのリノベーションについて詳しくお話を伺った。



Q. 空き家を購入するまでの経緯を教えてください。

都会の狭さを感じ始め、コロナ禍をきっかけに、長年抱いていた二拠点生活の夢を具体化する決意をしました。友人が郊外でのびのびとバーベキューなどを楽しむ生活を羨ましく思い、自身もその一歩を踏み出すことに。建築士としての背景を生かし、コストパフォーマンスに優れ、リノベーションの余地がある空き家への興味が高まりました。

Q. 空き家はどのように見つけましたか？

エリアは家族のルーツがある大子町と決めていたので、家探しはそこからスタートしました。主に不動産サイトを駆使し、毎晩のようにサイトに張り付いて探しました。キャンセルが出たこの物件に運良く出会い、地元行政のサポートも得ながら購入に至りました。行政の担当者は東京からの移住者だったこともあり、ご自身の実体験を生かした丁寧なアドバイスをいただけて助かりました。ご自宅にも招いてくださり、生活のイメージがしっかりと湧いたことも決め手でした。

Q. 物件探しの際に重視したことはなんですか？

建築士目線で、空き家の見極めポイントは「雨漏り」と「傾き」だと思っています。この2つはリノベーションでは修繕が難しいこともあるので、そこは特に注意して選びました。過去に雨漏りの問題があったかどうか、前の持ち主や行政の方から事前に情報を集めていました。

Q. 購入時の物件の状態と、リノベーションされた箇所を教えてください。

購入した物件も雨漏りはあったのですが、屋根裏の調査を通じて原因を特定し、修繕を行いました。また、庭の手入れは大きな課題でした。草刈りや木の剪定がかなり大変で…地域の人たちや親戚が手伝ってくれたおかげで、なんとかやり遂げることができました。

リノベーションでは天井を抜いて、開放感のある空間作りと薪ストーブの設置にこだわりました。パチパチと燃える火を見ていると、都会の喧騒を忘れることができ、とても癒されます。



Q. リノベーションで気に入っているポイントはどこですか？

家の隣に佇む古い蔵を、サウナに変身させたことです。蔵のビジュアルが一層際立ち、インパクトが出たと思います。蔵の入り口に暖簾を掛けたのですが、かっこよく仕上がって満足しています。



Q. 行政からは、具体的にどのようなサポートを受けましたか？

補助金関連の手続きは、スムーズでとてもありがたかったです。必要な書類の様式をLINEで送ってもらい、オンラインで手続きが完結しました。

さらに、今後利用できる補助金のリストを提供していただけたりと、空き家購入の大きな後押しになりました。

5種類ほどの補助金を駆使したのですが、行政のサポートのおかげで大変さはあまり感じなかったです。



Q. 改修やリノベーションにかかった費用はどのくらいでしたか？

雨漏りの改修が50万円ほどで、サウナなどのリノベーション入れると800万円くらいでした。予算より少し高くなりましたが、剪定した木を燃やしたりするのに時間を多く費やしたので、金額よりもそういう手間の方がコストだと感じましたね。

Q. 地域との関わりや住環境を教えてください

地域には他の移住者も多く、積極的に交流しています。また、隣接する木材屋の方をはじめ、地元の方の協力を得てウッドデッキを作るなど、地域の人々も歓迎してくれており、とてもありがたいですね。

東京に比べて家の敷地も庭も広いので、子どもたちものびのびと田舎生活を楽しんでいるようです。虫にも慣れて驚かなくなり、たくましさを感じています（笑）。「子どもの声が聞こえるだけで嬉しい！」と声をかけていただけて、子育て世代にとっても心強いです。



Q. 今後、さらにリノベーションをするなどの計画はありますか？

井戸水の利用ができるようにしたいと考えています。夏場でも冷たい水が出るといいなと。この地域は地盤が強く、地震など災害のリスクヘッジとしての観点でも、安全かつ実用的な住まいへと進化させていければと思っています。

Q. 空き家を検討している方々へのアドバイスはありますか？

事前の情報収集と、実際に目で見て「状態が良い物件を選ぶこと」ですかね。いくつか物件を見ていくと、目が養われていくように思います。



建築士として、専門的な目線での物件選びを教えてくださいました。蔵をリノベーションしたサウナを始め、天井を抜いたりリビングなど、センスの良さが光っていました。

インタビュー時には、庭を走り回るお子さんの姿も。行政のサポートを味方につけることで補助金の活用がスムーズにできた事例として、大変参考になるお話でした。